

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月30日

上場会社名 株式会社 藤商事

上場取引所 東

コード番号 6257 URL <http://www.fujimaruken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松元 邦夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 當仲 信秀

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

TEL 06-6949-0323

平成25年12月6日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	30,429	6.5	6,683	13.9	6,724	13.7	4,057	55.2
25年3月期第2四半期	28,567	29.6	5,868	32.1	5,917	31.8	2,614	△1.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	162.99	—
25年3月期第2四半期	105.00	—

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式の分割を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前事業年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	65,271	49,949	76.5
25年3月期	54,666	45,779	83.7

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 49,949百万円 25年3月期 45,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2,500.00	—	2,500.00	5,000.00
26年3月期	—	2,500.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	25.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式の分割を行っております。そのため、平成26年3月期における第2四半期末の配当金につきましては、株式の分割前の数値で算定しておりますが、期末の配当予想につきましては、株式の分割後の数値で算定しております。

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	6.4	7,000	11.7	7,000	10.8	4,000	28.1	160.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式の分割を行っております。1株当たり当期純利益につきましては、当該分割が期首に行われたと仮定し算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	25,495,500 株	25年3月期	25,495,500 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	600,000 株	25年3月期	600,000 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	24,895,500 株	25年3月期2Q	24,895,500 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式の分割を行っております。発行済株式数(普通株式)につきましては、当該分割が前事業年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は平成25年11月5日(火)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新興国をはじめとする海外の景気の下ぶれ懸念など先行き不透明な状況で推移いたしました。政府による経済対策や日銀の金融政策などの効果により、企業業績や消費動向が改善するなど、景気回復に向けた動きが見られました。

パチンコホール業界におきましては、消費者のレジャーに対する支出は限定的であり、パチンコホール全体の経営環境は厳しい状況にあります。パチンコ遊技機では、1円パチンコに代表される低貸玉営業での遊技機の設置比率が上昇するとともに、従来からの営業形態での集客や稼働は伸び悩み、収益面では厳しい状況が続いております。

このため、遊技機の購入につきましても慎重な姿勢により、安定稼働が見込める機種に需要が集中いたしました。

一方、パチスロ遊技機では、人気シリーズの後継機種の需要は堅調に推移したものの、稼働や収益面は伸び悩みを見せております。

このような状況のもと当社は、「稼働本位」「流行創出」を当期の事業方針に掲げ、パチンコファンの皆様に長期間楽しんでいただける「オモシロさ」にこだわり、新規性や独自性の追求などによる商品力の向上とともに、幅広いファン層に対応した販売ラインナップの充実に取り組んでおります。

パチンコ遊技機につきましては、本格ホラーパチンコや競馬情報誌とタイアップした機種のほか、前事業年度発売機種のシリーズとして手軽に安く遊べるタイプを追加発売し、販売活動は概ね順調に推移いたしました。

パチスロ遊技機につきましては、新筐体「QUADCORE（クアッドコア）」の第1弾機種を市場投入いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高304億29百万円（対前年同期比6.5%増）、営業利益66億83百万円（同13.9%増）、経常利益67億24百万円（同13.7%増）、四半期純利益40億57百万円（同55.2%増）となりました。

※製品別の状況は次のとおりであります。

（パチンコ遊技機）

パチンコ遊技機につきましては、新規タイトルとして「CRゲゲゲの鬼太郎 地獄からの使者」（平成25年4月発売）、「CR呪怨」（平成25年7月発売）、「CR KING of KEIBA」シリーズ（平成25年9月発売）を市場投入したほか、前事業年度発売機種の手軽に安く遊べるタイプ（「CR龍玉八犬伝」、「CR不思議のダンジョン 風来のシレン すずね姫とまどろみの塔」）を追加発売いたしました。

以上の結果、販売台数は86千台（対前年同期比2.7%減）、売上高291億82百万円（同3.7%増）となりました。

（パチスロ遊技機）

パチスロ遊技機では、「パチスロRAVE エンドレスラッシュ」（平成25年8月発売）を市場投入いたしました。

以上の結果、販売台数は3千台（対前年同期比171.0%増）、売上高12億47百万円（同183.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

総資産は、前事業年度末に比べ106億5百万円増加し、652億71百万円となりました。

これは主に、現金及び預金が65億56百万円、受取手形及び売掛金が34億4百万円増加したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ64億35百万円増加し、153億22百万円となりました。

これは主に、買掛金が23億89百万円、未払法人税等が20億74百万円増加したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ41億69百万円増加し、499億49百万円となりました。

これは主に、利益剰余金の増加などによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ64億56百万円増加し、338億88百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、80億1百万円（前年同期は6億66百万円の資金の増加）となりました。

これは主に、税引前四半期純利益67億15百万円、仕入債務の増加額24億42百万円、未払金の増加額14億22百万円などが増加の要因であり、売上債権の増加額34億4百万円などが減少の要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、9億22百万円（前年同期は16億54百万円の資金の減少）となりました。

これは主に、有価証券の償還による収入3億90百万円などが増加の要因であり、投資有価証券の取得による支出7億4百万円、有形固定資産の取得による支出4億64百万円、定期預金の預入による支出1億円などが減少の要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、6億22百万円（前年同期は5億59百万円の資金の減少）となりました。

これは、配当金の支払によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成25年9月10日に公表しました、「業績予想の修正に関するお知らせ」からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,682	34,238
受取手形及び売掛金	3,871	7,275
有価証券	691	800
商品及び製品	5	31
原材料及び貯蔵品	3,053	2,565
前渡金	4,141	3,699
繰延税金資産	2,200	2,775
その他	117	205
貸倒引当金	△4	△8
流動資産合計	41,759	51,583
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,995	1,945
機械及び装置（純額）	273	226
工具、器具及び備品（純額）	980	911
土地	3,231	3,231
その他（純額）	54	53
有形固定資産合計	6,536	6,368
無形固定資産		
投資その他の資産	190	202
長期前払費用	1,660	1,591
その他	4,885	5,889
貸倒引当金	△365	△363
投資その他の資産合計	6,180	7,117
固定資産合計	12,907	13,688
資産合計	54,666	65,271

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,478	6,868
未払法人税等	1,072	3,147
未払消費税等	6	282
賞与引当金	447	533
役員賞与引当金	150	—
その他	1,115	2,662
流動負債合計	7,271	13,494
固定負債		
退職給付引当金	788	797
その他	827	1,030
固定負債合計	1,615	1,828
負債合計	8,887	15,322
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,281	3,281
資本剰余金	3,258	3,258
利益剰余金	39,571	43,007
自己株式	△486	△486
株主資本合計	45,624	49,059
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	155	889
評価・換算差額等合計	155	889
純資産合計	45,779	49,949
負債純資産合計	54,666	65,271

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	28,567	30,429
売上原価	15,264	14,954
売上総利益	13,303	15,475
販売費及び一般管理費	7,435	8,791
営業利益	5,868	6,683
営業外収益		
受取配当金	18	26
受取賃貸料	9	8
利用分量配当金	10	10
受取ロイヤリティー	10	3
その他	29	22
営業外収益合計	78	71
営業外費用		
シンジケートローン手数料	22	21
賃貸収入原価	2	2
その他	4	6
営業外費用合計	29	30
経常利益	5,917	6,724
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	9
減損損失	850	—
投資有価証券評価損	20	—
特別損失合計	872	9
税引前四半期純利益	5,045	6,715
法人税、住民税及び事業税	2,666	3,101
法人税等調整額	△235	△443
法人税等合計	2,430	2,657
四半期純利益	2,614	4,057

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	5,045	6,715
減価償却費	1,035	721
減損損失	850	—
投資有価証券評価損益(△は益)	20	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	21	85
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△180	△150
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5	8
受取利息及び受取配当金	△28	△36
固定資産売却損益(△は益)	0	△0
固定資産除却損	0	9
売上債権の増減額(△は増加)	△994	△3,404
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,094	461
前渡金の増減額(△は増加)	△143	441
長期前払費用の増減額(△は増加)	△468	8
仕入債務の増減額(△は減少)	757	2,442
未払金の増減額(△は減少)	△261	1,422
未払消費税等の増減額(△は減少)	△445	275
その他	△73	2
小計	4,049	9,008
利息及び配当金の受取額	34	44
法人税等の支払額	△3,417	△1,051
営業活動によるキャッシュ・フロー	666	8,001
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△100
有価証券の償還による収入	290	390
投資有価証券の取得による支出	△919	△704
有形固定資産の取得による支出	△792	△464
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△45	△43
その他の支出	△191	△2
その他の収入	3	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,654	△922
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△559	△622
財務活動によるキャッシュ・フロー	△559	△622
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,547	6,456
現金及び現金同等物の期首残高	28,740	27,431
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,192	33,888

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。